

山东师范大学
硕士研究生入学考试试题

日语语言文学

考试科目:

基础日语

- 注意事项: 1. 本试卷共三道大题(共计个 20 小题), 满分 150 分;
2. 本卷属试题卷, 答题另有答题卷, 答案一律写在答题卷上, 写在该试题卷上或草纸上均无效。要注意试卷清洁, 不要在试卷上涂划;
3. 必须用蓝、黑钢笔或圆珠笔答题, 其它均无效。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(35 点)

修学院離宮の庭には境がないが、竜安寺の庭は額縁の中にある。

修学院では、人は自然の中に入るので、庭の中に入るのはではない。竜安寺では、人は庭をみるので、庭の中に入るのはではない。①一方では庭は庭でないし、他方では庭はみられるものにすぎない。低い白壁によって三方を囲まれた額縁の中の自然は、近代劇の舞台のように、第三の壁を観客に向かって開いている。庭は寺の広縁から、みられるためにあり、みられるためにのみある。三方の白壁の外には、美術館の壁面のように、額縁の中の風景とは縁もゆかりもない空間がある。その空間は目立たぬほうがよろしい。②竜安寺の庭は、目の覚めるような紅葉の林が、周囲を取り巻いている秋にではなく、枯れ落ちた林の、こずえの網の目が、灰色の空を透かしている冬の午後、あるいは、薄緑の若芽が林を包む春の夕暮れに眺めるのがよろしい。(A)の自然が、古代的、牧歌的な、an sich の自然であるとすれば、(B)の自然は、近代の風景画のように、近代的、客観的な fur sich の自然であろう。一方では、自然的なもの与人間的なものとは区別されず、したがって、自然対人間の対立を通じての自然は、恐らく意識されていない。庭は素朴に自然を模倣するが、その本質をとらえない。他方では、自然的なもの与人間的なものとは明らかに区別され、自然は常に、人間に対する自然として意識される。庭は自然を模倣せず、自然的な素材の効果を厳しく③キョゼツしながら、純粋に人間的な精神的な方法によって、すなわち、

かの相阿弥が、㉠ジユクタツし、㉡セイツイウし、自在に㉢クシした象徴主義的方法によって、自然の本質をとらえている。(C)、後水尾院は、彼の離宮で生活していたのだということを忘れてはならない。相阿弥は、どこで生活していたのか。少なくとも、石庭の中においてでなかったことは、確かである。その自然はみられるものであり、単にみられるものであるかぎり、決して宇宙ではなかった。宇宙は、その中に人が身を置くところのものである。

だれがそのような宇宙を造ったか。家の中へ入るように、その中へ入ることのできる庭、それ自身境のある世界であって、自然から明らかに区別され、しかし額縁の中に限られたものではなく、人を包み、家を包み、一切を包む庭、単にみられるものでなく、その中で動き、生き、考えることのできる庭、精神にとってのある㉣タイショウではなく、唯一の宇宙である庭、そのような庭を、だれが造ったか。

(加藤周一「日本の庭」)

問一 傍線部㉦～㉧の片仮名を漢字に直しなさい。(5点)

問二 傍線部㉠について、(1)「一方」とは何を指すか答えなさい。また、(2)「庭は庭でない」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。(各 2.5 点、全 5 点)

ア庭園としての価値が「他方」よりも劣っているということ。

イ自然の取り入れ方が不十分であるということ。

ウ鑑賞の対象にすぎず自然の要素が失われているということ。

エ自然界、人間界と隔絶された存在であるということ。

オ自然そのものと同等で、人工的庭園でないということ。

問三 傍線部㉡の理由を文中の語句を用いて六十字以内で説明しなさい。(5点)

問四 竜安寺の庭の形態を比喩的に表現している部分を三か所、いずれも七字以内で抜き出しなさい。(6点)

問五 () A・Bに「竜安寺」「修学院」のいずれかを入れなさい。(4点)

問六 修学院離宮の庭について筆者が評価している点を示されているのはどこか、二十字以内で抜き出し、その内容を文中の語句を用いて三十字以内で説明しなさい。(8点)

問七 () Cに入れるべき接続詞として最もふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア だから イ かえって ウ しかし エ また オ 更に

二、次の文章を読んで、後の設問を答えなさい。(25点)

語にはそれぞれ一定の中核的な意味があるが、その周辺には<A>感じがまつわりついていて、それらをひっくるめて語感と呼ぶことができる。「感じ」であるから本来主観的な性質が濃く、個人的な語感も非常に多い。(中略) ①同一の語の語感でも、場面や文脈によって、相当に変異し得る。『オッペルと象』(宮沢賢治)に「オッペルはやっぱりえらい」のような文句が繰り返されているが、本当に尊敬して言う「えらい」の語感とはよほど違っている。「朝露によごれて涼し瓜の泥」(芭蕉)の「泥」の語感は「泥でよごれた手」などに比べて、ずっと爽やかなものと言えよう。(中略) 蛍は美しい、はかない感「絞首刑」は恐ろしい感じ、「要求する」は「要望する」よりきつい感じがする。②指示対象の性質からくる印象であろう。(中略) 普通の言語意識においては、③言葉と物が一体化される傾向は、現代でもなお根強いものがある。物の印象は、言葉にしみ込んでくる。「厠」、「便所」などはくさいような、汚い感じを帯びてきて、「手洗い」、「トイレ」などの言い換え語が作られる。(中略)「花」は植物の生殖器官であるが、美しい華やかなものという感じから、「花のパリ」、「社交界の花」、「花の命は短くて」などの使い方も生じてくる。④こういう語感はすでに語の意味の一部になっているとも言えよう。

西尾寅弥「語感」より

問一 空欄<A>、を補うのに適当な言葉を書いてください。(各2.5点、全5点)

問二 下線部①について、問題文以外の例を挙げて説明しなさい。(5点)

問三 下線部②の「指示対象の性質」とはどういう意味か、簡潔に説明しなさい。(5点)

問四 下線部③の「言葉と物が一体化される傾向」とはどういう意味か、簡潔に説明しなさい。(5点)

問五 下線部④の「語感」は「語の意味の一部になっている」とはどういうことか、簡潔に説明しなさい。(5点)

問題二、翻訳(50点)

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。(25点)

1. 她虽然已经是六十多岁的老人了，但依然显得年轻、俊秀、不减当年贵人姿容：满头黑发，两眼炯炯有神，鼻梁高高的，长圆脸庞。她思维敏捷，记忆力好，谈吐清晰。

2. 那个人 10 年前曾经是个红极一时的歌手，而如今的他已是寒碜不已。
3. 五花八门的广告，给东京添上了一层色彩，这也许可以说是东京的特色之一吧。广告似乎遍布每个角落：电视机里放着广告、收音机里播着广告曲，更有站在商店门口宣传的活广告。
4. 今天是圣诞节前夜，我觉得每个走在街上的人似乎都有点心神不定。
5. 他是个相貌不出众的男人。

二、次の日本語を中国語に訳しなさい。(25 点)

冬はとくに過ぎたはずなのに、高原に春の訪れが遅かった。寒い風が吹き、赤岳や権現岳は白く、厳しく、落葉松林だけがわずか黄褐色萌え出している。ところどころに雪の残る高原は、打ちひしがれたような有様であった。その中に、去年の芒が細く立っているのが不患議であった。深い雪と、烈しい風の冬を経て、頑丈な縦の枝でさえ折れているのがあるのに、どうしてこの細々とした茎が立ちつづけていたのだろうか。

春が来ると、一時に芽吹きがはじまる。紅に、黄に、白緑に、若葉に、銀に、金にと、多彩な交響楽。白い素朴な花をつけた小梨の下には、虻がブーンと弦楽の合奏をしている。鶯と郭公は高音と低音の重唱。つつじ、蓮華つつじの華やかさ、どんだんつつじの可憐、野薔薇の清楚。

霧が流れ、雨が降る。夏の陽が輝くと、草いきれのする野に、放牧の馬の背が光る。驟雨、烈しい雷鳴、晴れてゆく念場ヶ原に立つあざやかな虹。

薊の茎が伸び、松虫草が咲くと、空が青く澄んで、すきとおるような薄い雲が流れる。落葉松が黄褐色に、白樺が輝く黄になると、芒の穂が白く風になびく。

空が厚い灰色の雲に蔽われ、雪が降ってくる。一面の深い雪。縦の木が真っ黒に見え、雪の上に点々と鳥や兎の足あとが交叉する。落葉松の林が、時々、寒そうに身震いして、白い粉をふりまくように雪を払いおとす。

つつじ＝杜鹃花 蓮華つつじ＝荷花 どんだんつつじ＝吊钟花

草いきれ＝草冒的热气

問題三、作文 (1500 字前後) (40 点)

今の時代に必要なこと